

事務事業名 古紙集団回収奨励事業

出力日：令和06年03月18日

キーコード：1104

施策：	23	循環型・低炭素・自然共生社会の推進	財務コード	01040202-08-330
基本事業：	01	ごみ減量化の推進	担当部	環境経済部
基本事業の成果指標	一人1日当たりのごみの排出量 ごみの資源化率		担当課	環境課
			担当係	環境保全・廃棄物



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成05年度 ~		新規・継続	継続	会計区分		実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
市民			筑紫野市資源ごみ集団回収奨励金交付要綱に基づき、1kgにつき8円を奨励金として交付する。 奨励金の対象となる団体は、古紙等の集団回収を定期的を実施する市内の町内会及び社会教育関係団体等で環境衛生推進員の推薦を受け、市長が認めたもの。 対象品目は新聞紙、ダンボール、その他の雑紙、布類である。 奨励金は、行政区による活動に活用されることにより、資源の有効活用だけでなく、地域コミュニティの醸成にも寄与している。						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）						
ごみの減量化に努める。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	03年度実績	04年度実績	05年度当初	06年度要求	07年度計画	08年度計画	目標
集団回収による古紙回収量		t	2,076	1,980	2,000	2,000			2,000
5. コスト									
事業費		計	千円	16,609	15,844	18,000	18,000		
		国	千円	0	0	0	0		
		県	千円	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他一般	千円	16,609	15,844	18,000	18,000		
正職員人工数		人工	0.6	0.6	0.6				
正職員人件費		千円	4,753	4,637	4,689				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	21,362	20,481	22,689	18,000			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		< 状況 > 昨年より回収量が96t減少している。 < 原因 > 新聞や雑誌の発行部数の減少が、回収量に大きく影響していると見られる。回収量は減っているが、可燃ごみに転化したことはデータ上見受けられないため、大手ショッピングセンター、新聞販売所など回収先の選択肢が増えていることが、本事業の回収量に影響していると思われる。 < 課題 > 今後も回収量は減っていくと予想されるが、ごみの減量や資源の再利用のほか、環境教育やまちの美化、地域のコミュニティづくりにも役立っているため、活動を続けていく必要がある。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	減少	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	あり						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし						
成果向上余地	小さい								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）			改善方向性		維持 見直し 廃止 事業終了				
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）			備考・特記事項 or 進行管理欄						
平成5年度より筑紫野市資源ごみ集団回収奨励金交付要綱に基づき古紙等の集団回収を実施した市内の地域団体等に奨励金を交付している。			平成24年度から加算額1円を廃止した。						